

けんちゅうWith!



2020. 10. 28 No6

共生社会の実現へ向けて

石川支援学校・石川支援学校たまかわ校の取組

福島県地域学校活性化推進構想の4つの柱の一つに「地域と共に学び、共に生きる特別支援教育」があります。障がいのある子どもたちが地域で共に学び、地域で安心して成長できる環境作りに向けて、特別支援学校では様々な交流及び共同学習を実践しています。今回は、石川支援学校、石川支援学校たまかわ校の地域交流活動について御紹介します。



石川支援学校では地域の婦人会や長寿会の方々と毎年交流会を開催しています。交流会では、地域の方と様々なゲームや制作活動等と一緒にすることで、交流を深めています。地域の方々とふれあったり関わったりしながら、健やかな心と体を持ち、地域とのつながりを大切にして社会を生き抜く力を育むことを目指しています。



【須釜小との交流学習】

【泉中（現・玉川中）との交流学習】

石川支援学校、石川支援学校たまかわ校は、小中学校との交流学習を積極的に実践しています。特別支援学校は移動手段の確保に頭を悩ませています。学校の通学バスや村のバスを有効に活用して学習を実施しています。地域の小中学生との関わりは特別支援学校の児童生徒の成長にとって大変有意義な経験になります。

また、たまかわ校では、地域支援センターの取組の一環として、発達に関する学習会「地域の学習会」を開催しています。教職員はもとより発達課題や子どもへの関わりについて学びたい地域の方は誰でも参加できます。

地域と特別支援学校がしっかり連携して活動し、切れ目なく地域でもに学ぶことができる教育環境作りに取り組む実践は参考になりますね。

たまかわ校主催 「地域の学習会」

支援学校の先生方が講師となり学習会を進めます。地域の方も参加可能です。12月の研修会は現在のところ開催する予定です。参加希望の方は直接学校へお問い合わせください。

令和元年 地域の学習会のご案内

～私たちと一緒に考えてみませんか！～

テーマ「特別な支援が必要な児童生徒の支援について」

参加費無料 地域学習会費0円（1日分の参加費0円です）

日	時 間	主 題	場 所
1	9月 18日 (水) 10:00～16:30	●部への参加に難関がられる児童生徒への交流を促すことについて	石川支援学校 たまかわ校
2	7月 31日 (水) 9:00～11:30	●保護に役立つ資料の作成や実施に関する研修会（発達障害児の発達支援について）	石川支援学校 たまかわ校
3	12月 26日 (水) 10:00～11:30	●障がい者雇用促進に関する研修会（雇用促進について）	石川支援学校 たまかわ校

地域の学習会とは・・・

- 地域から支援が必要な子どもたちと接している両当事者
- 地域に居る子どもたちの関わりを促すための100人程度の有志者
- 子どもたちの関わりを促す、よりよい交流の場をつくることを目指す
- 支援学校にのみ関係するのではなく、ご自分でも参加できる学習会です。



○開催日が変更されたら詳細は参加申込書で送付いたします。
○参加費は研修費により変更することもありますのでホームページにてご確認ください。

お申込み、お問い合わせは

福島県立石川支援学校 たまかわ校 地域支援センター
電話 0247-27-6221 / 0247-27-6222
<http://idkikaw-sh-tamaka.fts.ed.jp/5000>

公民館訪問 おじいちゃん、おばあちゃんのための学校ごっこ

西袋公民館「生き生き健康学びのサークル小学校体験」

今回は、須賀川市西袋公民館で実践している「生き生き学びのサークル」を御紹介します。この講座は、高齢者を対象にした講座です。漢字計算ドリルを使って「脳トレ」をしたり、昔話を声に出して読んだり、脳の活性化を進めています。また、保健師さんに血圧チェックをしてもらったり、健康相談を行ったりして健康維持の活動をしています。どの公民館でも行うような高齢者向けの講座ですが、とても素敵な仕掛けがあります。



震災後、人数が集まらなかつたり地域でも被災があつたりして公民館で実施するようになりましたが、震災前は小学校の特別教室をお借りして講座を運営していました。講座の運営は公民館職員が行います。参加者は、幼かった頃を思い出し、講座に参加するため「学校に登校」するのです。まるで「おじいちゃん、おばあちゃんのための学校ごっこ」のような事業だと思いませんか。



活動が終了すると、子どもたちの下校を見守る「見守り隊」としてボランティア活動を行います。前もって日程を合わせれば、学校での授業のボランティアも行います。「昔遊び体験」や「昔のくらしの勉強」にも参加していただけます。高齢者の健康維持のための活動ですが、学校への貢献もでき、子どもとの触れあいも体験できる、お年寄りにとっても子どもにとっても、地域にとっても素敵な活動だと思います。こんな活動がそれぞれの地域で広がればいいなと感じました。



目からウロコ！

- ① 学校の特別教室や空き教室を有効に活用できる。
- ② 学校の駐車場が使えるから駐車場には困らない。
- ③ 公民館職員が運営するが、学校との連携もとりやすい。



発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488 HP: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>

